



2023年9月11日

各 位

会社名：アネスト岩田株式会社  
代表者名：代表取締役 社長執行役員 深瀬 真一  
(コード番号：6381 プライム市場)  
問合せ先：経営企画部長 入部 貴義  
(TEL. 045-591-9344)

## 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会機能の一層の向上を図ることを目的として、毎年その実効性を全ての取締役が分析・評価し、取締役会での議論を経て、その結果の概要を開示することとしております。

このたび、2022年度に開催された取締役会について結果がまとまりましたので、その概要を報告いたします。

### 1. 実施内容

以下の要領に基づくアンケート（無記名方式）の実施とそれに対する第三者機関の分析

当社は、2016年度から自社による実効性評価を毎年実施していましたが、2021年度に続き2022年度も、第三者機関による質問票を用いたアンケートを全取締役に対して行いました。

【評価対象】 2022年4月から2023年3月に実施の当社取締役会(全13回)

【対象者】 当社取締役(計11名)

【実施期間】 2023年4月

【概要】 評価項目と評価方法

- ・「取締役会の役割・機能・構成・規模」などに関する項目
- ・「社外取締役や株主・投資家との関係」に関する項目

など、昨年同様の項目に関する設問及び自由記入によるアンケート（無記名方式）の後、その集計及び評価結果について、2023年6月～9月の取締役会及び意見交換会において審議いたしました。

### 2. 昨年度に抽出した課題への取り組み状況について

具体例として、「社外取締役における後継計画や役員に対するトレーニング」、「取締役会で議論された事項に関する適切な結果報告の仕組み」などを抽出しました。社外取締役における後継計画については、指名・報酬委員会において継続した協議を行い、候補者の選任などに至ったこと、またそれに伴うスキルマトリクスの見直しも行いましたが、役員トレーニングにつきましては、社内外を問わず実施されているものの、新任の社内取締役に対する計画的なトレーニングは不足していると考え、引き続き外部機関の情報も参考として取締役会事務局が主体となり対応を進めております。

取締役会で議論された事項に関する適切な結果報告の仕組みについては、成功のみならず失敗という経験もノウハウとして蓄積するために、実施の半年後、1年後などにおいて取締役会へ報告することをあらためて社内規程化の上、運用しております。

### 3. 分析及び評価結果

2年目となった今回は、昨年度に比べて当社取締役がさらに厳しい目線で評価を行った、と第三者機関よりコメントがありましたが、毎年の取締役会評価結果を踏まえて適切に改善が続けられており、依然として当社の取締役会は議長の適切な議事進行の下、全取締役が一丸となって自由闊達な議論を行っていることから、課題はあるものの継続して十分な実効性を有しているとの分析結果を受けました。第三者機関の分析結果を踏まえ、当社取締役会においても十分な実効性を有しているとの評価をいたしました。

### 4. さらなる実効性向上に向けた取り組み

主な課題として以下の内容が挙げられました。

- \* 就任時及びサクセッションプランの一環として社内取締役に対して行う研修プログラムの拡充や、当社グループのコア事業及び事業環境などに関する理解をさらに深めるために社外取締役に対して行う定期的な研修会などの開催
- \* 取締役会の多様性を高める上で、スキルマトリクスを通じた役員構成に関する検討の継続や、国内外の業務執行担当者が人的交流を深める際に行う経営的な思考力の育成
- \* 機関投資家を始めとするステークホルダーに対して、株主還元を含めた当社グループの成長戦略をさらに理解いただくための継続的な議論

このような課題に対して、取締役会事務局による企画立案などにより、取締役会及びその前後に開催する意見交換会を有効に活用し、取締役会のさらなる審議の充実と、その実効性を向上させてまいります。

以上